# デフィブリーる通信

平成17年11月27日
第2号　発行
デフィブリーるの会
松戸市小金原4の34の18
川口音楽事務所内
TEL047-343-0808
FAX047-348-3876

# 2台目のAED・寄付先は県西部防災センター（松戸市）に

## 県庁で贈呈式

デフィブリーるの会は活動開始満1年を目前にした11月中旬、千葉県へAEDを1台寄付しました。これでAEDの寄付は昨年末の松戸市・森のホール21に続き2台目となります。

さる11月17日に千葉県庁で贈呈式が行われ、会のメンバー5人が県総務部消防地震防災課を訪問しAEDを贈呈して感謝状を贈られました。

贈呈式終了後、小瀧課長・木村防災対策監とAEDについての一般市民の認識や当会の活動について、県としての取り組みなどが話し合われ、しばしの懇談がありました。

## さっそく実演と操作指導

次に県職員を対象に人形（AIBO君）を用いて会顧問の森本医師によるAEDの実演が行われ、熱心な質疑応答があり最後に職員による実技指導がおこなわれ拍手で終了となりました。

この寄贈2号機は松戸市松戸の県西部防災センターに設置される予定。

AEDの普及については松戸市をはじめとした各市町村にくらべ県の対応は遅れていますが、この寄付をはずみにして県内各施設へのAED設置が進むことを期待しています。（佐竹荘助）

**千葉県西部防災センター**
松戸市松戸558－3
電話 047－331－5511
JR松戸駅から「市川駅」行きバス7分
「松戸二中」下車徒歩8分
防災情報の博物館　貴重な被災体験ができる。

## 第2回総会にご出席ください

17年11月27日(日)午後6時より
森のホール21大会議室にて

## 2年目の課題

会長　医師　渡邊　英二郎

デフィブリーるの会は満一歳になりました。

皆様からいただいたいた会費でAEDを公共の場に寄贈するとの最初の目標は森のホールと県西部防災センターへの2台の寄贈で達成されました。貴重な年会費をご負担いただいているみなさまの善意に大いに感謝いたします。

いつの日か当会の贈ったAEDで誰かが救命されることを祈ります。

さて、当会の2年目の課題はなんでしょうか？

現在、航空会社・全国の自治体・学校・JRなどあちこちでAEDを設置する動きは加速度的に進行しています。一方、当会で寄贈できる数は極く少数。よって購入設置を行うとの当会の役割は公的機関に譲るべき時期が来たと思います。

今後の目標は街角に置かれているAEDについて、その目的、使用法、それ以前の救急救命法の重要性などを一般市民に拡めることです。

引き続き御協力をお願いします。

（わたなべ・ひでじろう）

# ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 最近のAED関連の話題 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

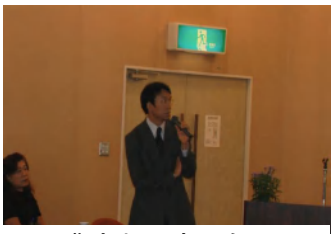
**太字は当会の活動**

■2005年6月　●愛知万博会場で医学生4人がAEDを使い41歳男性を人命救助

愛知万博会場のAED
（撮影 石黒玲子）

**●6月30日　デフィブリーるの会、松戸市医師会主催の救命講習会に参加（松戸商工会議所・参加者80名）**

7月　●日本経済新聞に特集記事「『除細動器配備は着々　理解は遅々』救命講習、消防頼み　参加者伸び悩み」8月　●関空で心肺停止の男性を救命。AED、初成功　9月　●『違法…でも人命優先』秋田地検は医師しか使用してはいけない除細動器を患者に使ったとして医師法違反の疑いで書類送検された大館市消防署の男性救急救命士を起訴猶予に　**●9月17日　デフィブリーるの会渡辺会長が三郷市文化会館で開催されたNPOナノ主催のAED講習会で講演（参加者50名）**


講演中の渡辺会長
（撮影 佐竹荘助）

●10月　NHK総合テレビ『クローズアップ現代』で「あなたに救える命があります～AEDの普及と課題」放送**●10月21日　デフィブリーるの会、川口日出旺コンサート会場で宣伝活動（森のホール21）**11月　●JR東海がAEDを東京駅など4駅に設置　●富山県がAEDを県内のすべての高校に贈呈　●神奈川県知事が首都圏サミットで「乗降客が多い鉄道駅に配備が少ない」と指摘。さいたま市長も「公共施設だけでなくJRや商業施設など民間への働きかけも重要」と応じ、八都県市共通のロゴマークやキャッチフレーズの作成を提案。**●11月11日　松戸地域の情報誌『マイ・ディア・ライフ』に渡辺会長のインタビュー掲載**

# AED普及活動この1年をふりかえって

デフィブリーるの会 顧問
医師　森本文雄

デフィブリーるの会は、AED（全自動体外式除細動器；電気ショック）を公共の場に寄贈するための活動をしています。コンサート中に倒れ、奇跡の生還を果たした川口日出旺氏の救命経験から会は誕生しました。AEDの設置で奇跡が日常的に起こることが判明したからです。愛知万博ではAEDが配備され、4人の突然の心停止患者が救命されています。AEDが皆さんの命を守る器械であるという認識が強くなってきています。松戸市では森のホールへの寄贈をきっかけに、千百万円の特別予算が計上され、28台のAEDが購入されました。市役所本庁に1台、各支所に8台配備され、消防車と救急車に計19台積載されるようになりました。市職員への救命講習も行われています。今年度はデフィブリーるの会は、松戸市にある防災体験施設の千葉県西部防災センターにAEDを寄贈しました。

防災という観点からAEDを考えていただけたらと思います。

（もりもと・ふみお）

千葉県庁でAEDを実演中の森本顧問（2005/11/17）

# AED雑感

川口和恵

私的にはAEDに明けAEDに暮れた一年で、エコ博で名古屋へ行っても仕事で海外へ行っても気になるのはAEDの設置場所やAED関連の情報ばかり。今年1月に内野正人先生（千葉西総合病院）によるCPR（心肺蘇生）の講習を受けた時に知ったのは、AEDによる救命率が世界一高いのはアメリカ・シアトルだということ。理由は市民のためのCPR講習会が3ヶ月に一度実施され市民の参加がとても多いため。CPRを何度も訓練することでいざという時に対応できるという好例です。デフィブリーるの会員も年に数回はCPR講習を受け、いざという時に実践できることが大切だと認識しました。

これからもAEDの普及、そしてCPR講習を実施して名実共に助かる大切な命を守るための活動グループであり続けるように、さらなる努力をしていきたいと思います。（かわぐち・かずえ）

デフィブリーるの会ではAEDを使った救命法の実演や会員医師による講演などを積極的におこなっています。町会・自治会・学校などで要望があればお気軽にご連絡ください。

## デフィブリーるの会 最新情報はホームページで

http://defibrill.hp.infoseek.co.jp
※検索サイトでは「AED　松戸」のキーワードで　お探しください